

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓を基底におき、「自己存在感や自己肯定感を高め、自ら成長できる子」の育成を通して、児童・保護者・地域・教職員にとって魅力ある学校づくりを目指します。

校 訓	めざす児童像	具 体 目 標
○ なかよく ○ がんばる ○ やさしい子	謙虚さや感謝の気持ち を持ち大切に、自ら成長できる子	・学び合い、考えを広げたり高めたりする子 ・意欲的な姿勢で学び、基礎学力を高める子 ・進んであいさつをして自分を開く子 ・明るく、思いやりを持ち、人権感覚を高める子 ・体を鍛え、主体的に運動する子

(2) 経営方針

全教職員が教育愛と情熱を持って家庭や地域と連携・協働しながら、4つのアプローチからなる来迎寺スタンダード【「わくわく」学びづくり・「いきいき」心づくり・「すくすく」体づくり・「どきどき」絆づくり】を充実させることで調和の取れた知・徳・体の育成を図ります。特に、自己存在感や自己肯定感の獲得を支援することを通して、「この仲間とだから分かった、成長できた」と感じられる魅力ある学校づくりを推進します。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力の育成（知） — 【「わくわく」学びづくり】

- ① 課題解決的な学習過程を構築し、タブレットを活用しながら仲間と学び合い高め合う機会を継続的に設定することで、「主体的・対話的で、深い学び」を実現し、「学ぶ楽しさ」を実感できるようにします。
- ② 学びのユニバーサルデザイン化や、タブレットの活用を通じた個別最適化された指導、個々の児童への支援体制の充実に努めることで、「分かるうれしさ」を実感できるようにします。

イ 豊かな心の育成（徳） — 【「いきいき」心づくり】

- ① 「自分を開き、相手に寄り添うあいさつ」の習慣化を通して、社会性を高め、自己肯定感を醸成します。
- ② 心に響く道徳科の授業の展開や、多様な体験活動の充実を通して、命を尊ぶ態度や人権感覚の醸成、規範意識の高揚等、教育活動全体で豊かな道徳性を培います。
- ③ 必要に応じて医療や心理学の専門家と情報共有や連携・協働を図り、支援が必要な児童を多面的・多角的に理解していきます。

ウ 健やかな体の育成（体） — 【「すくすく」体づくり】

- ① 授業、朝の活動、放課等の時間を有効に活用したり、手軽に運動ができるような設備の充実を図ったりすることで、主体的に運動したり体力を高める姿勢を育てます。
- ② 食育の推進を通して食生活に関心を持ち、自らの健康を適切に管理・改善していく資質や能力を養います。

エ 自己存在感の育成 — 【「どきどき」絆づくり】

- ① 自他の「いいところ」を認め合う場を意図的・継続的に設定したり、児童個々の学級での状況を把握する客観的な調査の結果を有効に活用したりすることを通して、確かな絆づくりに努めます。
- ② 当番活動や係活動の充実とキャリアプランニング能力の育成に努めます。

オ 学校・家庭・地域の連携と協働を通じた「地域とともにある学校」づくり

- ① 防犯・防災体制の充実を図り、安心して学ぶことのできる魅力的な教育環境づくりに努めます。
- ② PTA の組織や活動、地域との連携のあり方を見直し、適切に再編成することを通して、誰もが参画しやすく、持続可能で、開かれた学校の姿を模索します。
- ③ ホームページや絆ネット、学校通信等による積極的な情報発信、地域人材の有効活用（魅力ある学校設計や教育にかかわるボランティア等）に努めます。

カ 教職員の資質向上と働き方改革の推進

- ① 校内外での研修・研究機会を継続的に確保し、教育公務員としての自覚や資質の向上に努めます。
- ② 学校マネジメント力の強化を通して、教育活動の見直しと多忙化解消を推進し、個々の教員の望ましい働き方や生き方の実現を図ります。